

「稼ぐ力」の強化に向けた 「『Society 5.0』社会実装 モデルのあり方検討会」

事務局資料

2019/08/23

これまでの振り返りと更新

東京都におけるSociety5.0社会実装の大義・目標・方策

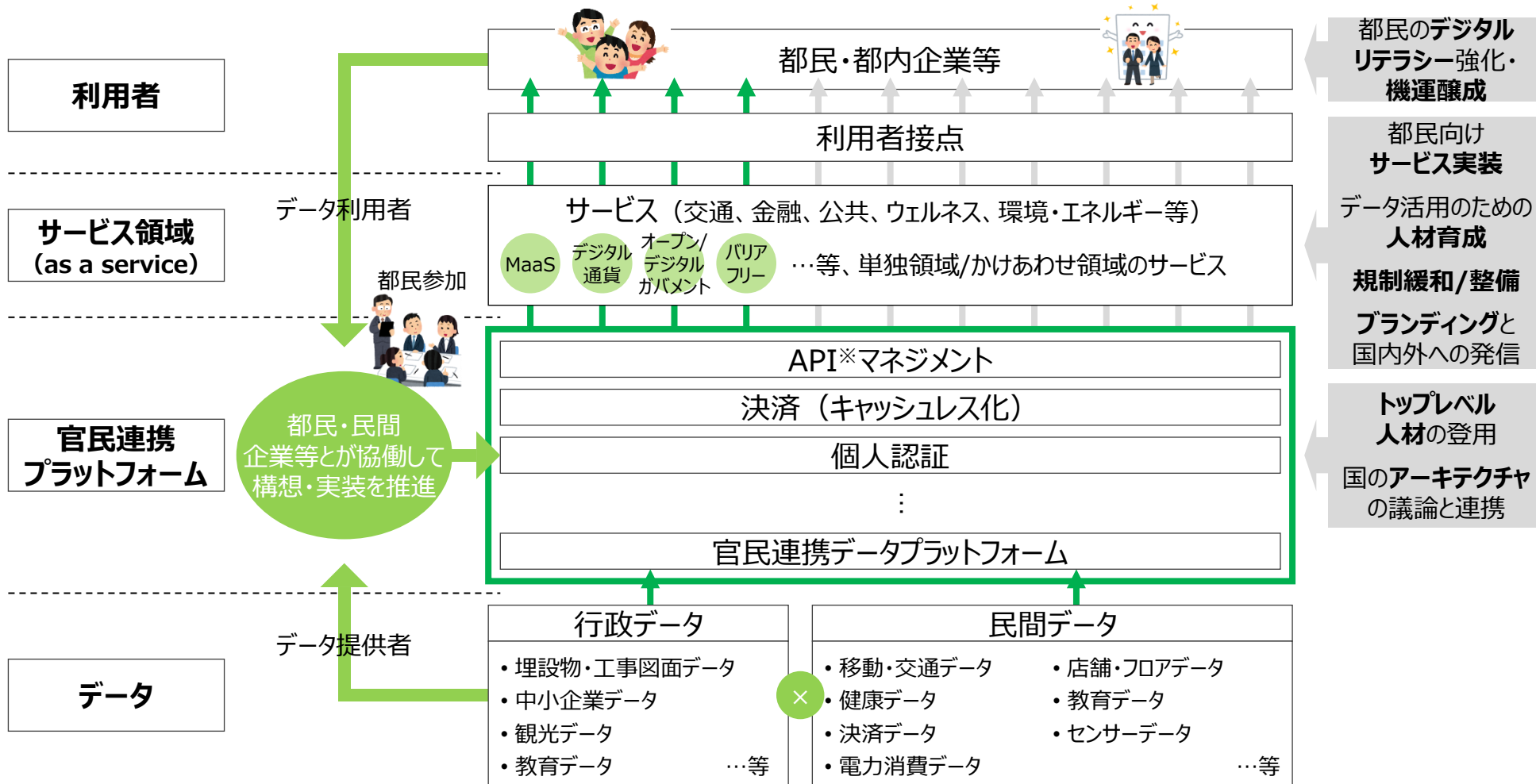
「稼ぐ力の向上」「ダイバーシティの実現」の2つの大義に加えて、「都民QoLの向上」を大義に据え、都としてSociety5.0社会実装を通じて実現すべき目標と、そのための方策を整理した。

大義	都民QoLの向上				
	稼ぐ力の向上			ダイバーシティの実現	
	新たな収益・創業 機会の創出	既存ビジネスの 生産性向上	投資・人材などの 呼び込み	多面的な バリアフリー実現	デジタルデバイド の解消
目標 (案)	<ul style="list-style-type: none">新規事業創出数の増加開業率の向上	<ul style="list-style-type: none">都内企業の生産性の向上働き方改革による労働時間の低減	<ul style="list-style-type: none">都市ブランド力の向上国内外からの投資受入額増加人材流入数増加	<ul style="list-style-type: none">物理的、制度的、文化・情報面、意識上、それぞれでのバリアフリー実現	<ul style="list-style-type: none">デジタルサービス利用インフラの普及デジタルサービスの利用率向上
方策 (案)	データのオープン化と活用のためのインフラ（官民連携データプラットフォーム）構築				
	データの利活用を図るための規制緩和/整備				
	データ活用のための人材育成				
	「データ都市」のブランディングと国内外への発信				
	都民向けサービス実装（MaaSなど）				
	都民のデジタルリテラシー強化・機運醸成				

これまでの振り返りと更新

東京都版Society5.0のイメージ

様々なデータソースが集約される官民連携プラットフォームを構築し、それらを都民・民間企業が自由に活用することで、MaaS、キャッシュレス化、オープン/デジタルガバメント等を通じた、Society5.0を実現する。



※API (アプリケーションプログラミングインターフェース) :あるコンピュータプログラム (ソフトウェア) の機能や管理するデータなどを、外部の他のプログラムから呼び出して利用するためのインターフェース

議事 1 データのガバナンスについて

官民連携データプラットフォームにおける「データのガバナンス」への基本姿勢

個人情報保護、データ活用を両立させ、豊かな社会の実現を目指す。そのために必要なエビデンス※を提示しながら、都民・都内企業へ丁寧に説明し、賛同を求めていく。



- 「個人情報保護」 VS 「データ活用」 の二項対立を避ける
 - 個人情報保護、プライバシー権保護を軽視しては、**国民・都民・消費者の理解**は得られない
 - 一方で、個人情報保護とは、個人情報を金庫にしまって何にも使わないことを意味するものでもない
 - 個人情報保護法でも、「個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする」ことをうたう
- 国も「DFFT（**データ・フリー・フロー・ウィズ・トラスト**）」を掲げる
- データ保護・個人情報保護・プライバシー権保護が前提での、データ活用
- 個人情報保護とデータ活用の**両立**を目指す

議事 1 データのガバナンスについて

実現のための要素「データ・オーナーシップ」（都民一人ひとりの意思に基づくデータ管理）

個人情報関連で注目されるオプトイン、データポータビリティといった要素を押さえながら、個人情報の適正な利活用と都民等の安心を実現していく。

	オプトイン (個人情報の利活用にあたり、対象者からの個別の承諾を得ることが前提となる方式)	データポータビリティ (本人が提供したデータを、再利用しやすい形で、本人に還元又は他者に移管する仕組み)
現在の状況	<ul style="list-style-type: none">✓ 現行制度において、オプトインでの情報取得を妨げるものはない	<ul style="list-style-type: none">✓ 現在は、個人の権利として保障されていないものの、EUにおけるGDPR（一般データ保護規則）等を踏まえ国でも検討が進む
現在起きている議論	<ul style="list-style-type: none">✓ オプトインにより、データを安心して提供できるようにする✓ 一方、全てのデータをオプトインにすることは対象者の手間を増やし、利便性の低下を招く恐れもあり、現実的な仕組みが重要	<ul style="list-style-type: none">✓ 消費者から見ると、実装により利便性向上が期待される✓ データを持ち出して、他で利用する際には、データの形式等が標準化されていることが重要である
官民連携データPFにおける扱い（案）	<ul style="list-style-type: none">✓ 承諾を得る際の手続の利便性を考慮しながら、安全かつ安心な仕組みを検討、整備する✓ オプトインだけで不正利用を防止するのではなく、どのように活用されているか、官民の説明責任・透明性を求める	<ul style="list-style-type: none">✓ データポータビリティの仕組みについて、官民連携データプラットフォーム上に実装することを検討する✓ また、国や国際的な標準化の議論を踏まえつつ、都においてもデータの標準化の在り方を検討する

議事 2 官民連携データプラットフォームについて

官民連携データプラットフォーム運営主体は、データプラットフォームを構築・運営しつつ、都や基礎自治体、その他の民間企業・機関等によるサービス/アプリケーション開発・運営を支援する。



議事2 官民連携データプラットフォームについて

官民連携データプラットフォーム 検討に際しての前提条件

前提条件

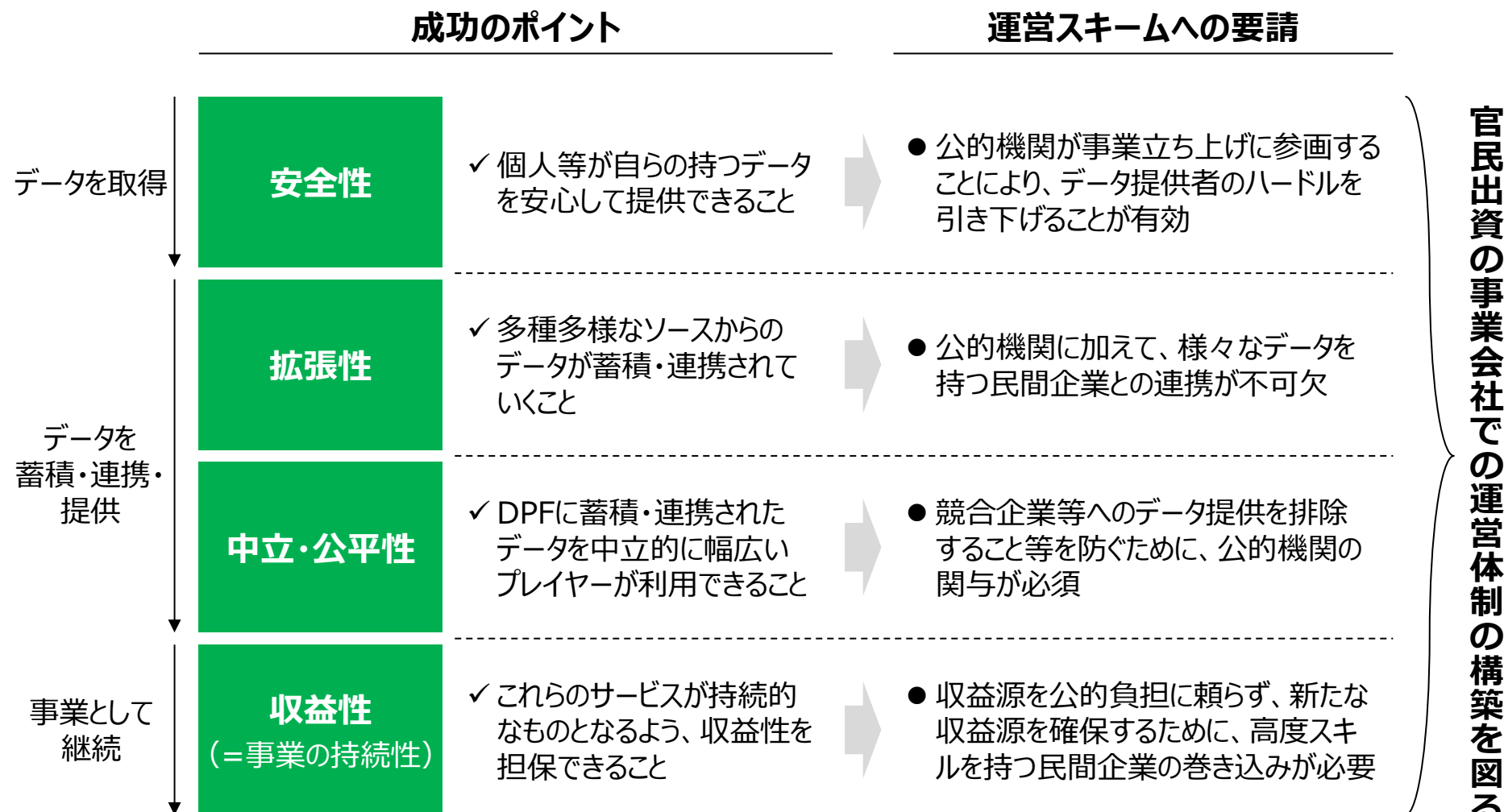
- ① 2020年、社会の盛り上がりやデータ関連ビジネス市場の活性化を見通し、インパクトを与えることのできる事業・運営組織であること
- ② Society5.0が目指す姿である「ビッグデータやAIの活用による「稼ぐ力」（更なる経済発展）と社会的課題の解決の両立」を早期に実現できる事業・運営組織であること
- ③ 官民連携を強かにリードでき、レガシーとなり得る事業・運営組織であること
- ④ 資本、人財、技術等において、都の強み（リソース）を有効活用すると共に、弱いところを柔軟に補える事業・運営組織（共存共栄）であること
- ⑤ 一定のルールのもと、オープンなデータ環境を整備する事業・運営組織であること
- ⑥ 政府の考えるDFFT（データ・フリー・フロー・ウィズ・トラスト）の概念とも通ずること

上記の具体的実現度を考慮すると共に、スピード感を意識して、事業・運営組織のあり方を判断する。

議事2 官民連携データプラットフォームについて

事業内容を踏まえた運営スキーム（第2回検討会議論での方向性）

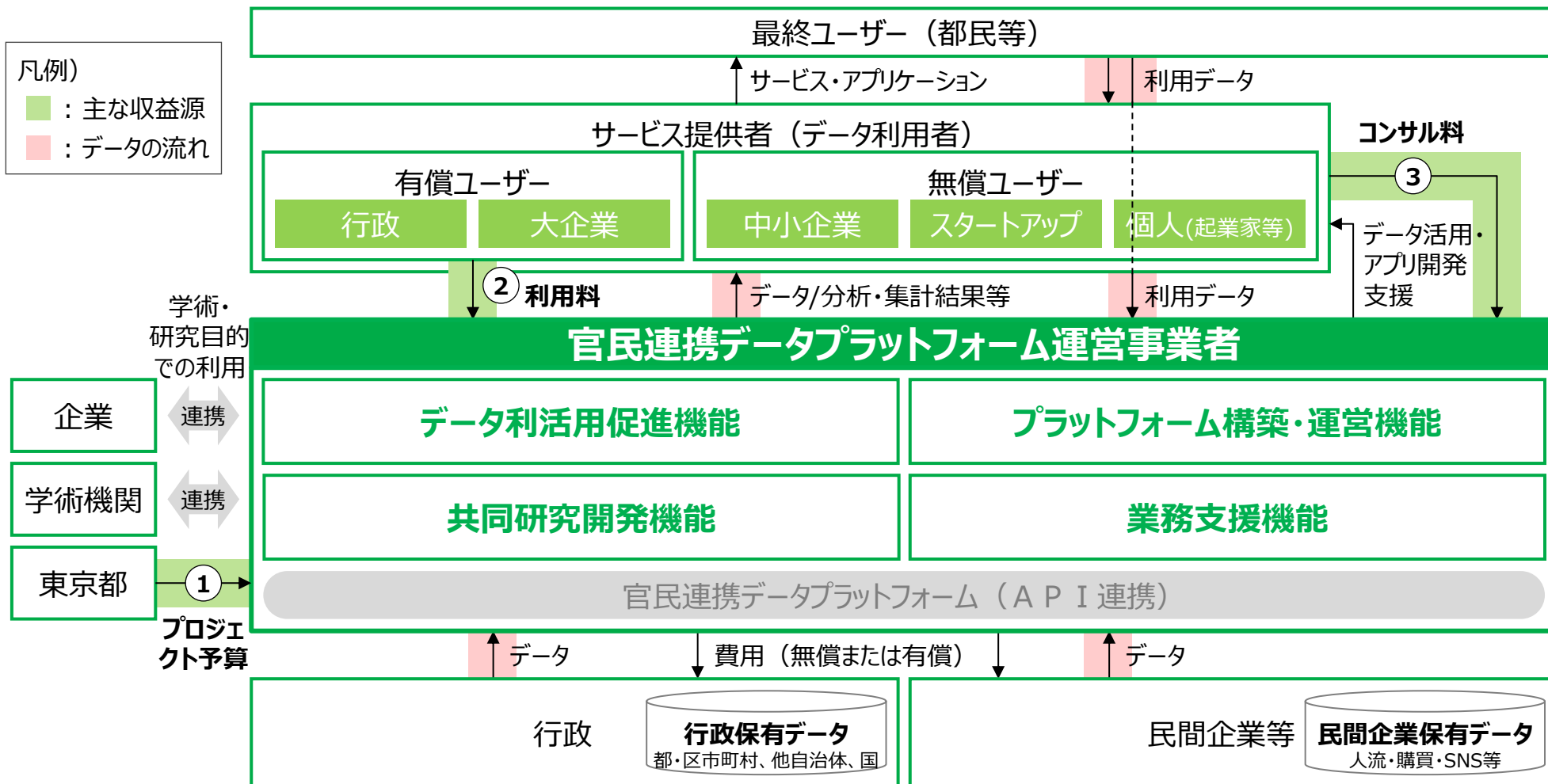
ビジネススキームの成立には、安全性、拡張性、中立・公平性、収益性（＝事業の持続性）等の観点求められる。これらの観点に応えるために、官民連携の運営スキームを構築したい。



議事2 官民連携データプラットフォームについて

運営体のビジネススキーム（案）

官民連携プラットフォーム運営事業者は、東京都からのプロジェクト予算（①）の他、行政・大企業へのデータ提供に対する利用料（②）、データ利用者のうち開発支援を要するものへのコンサル料（③）等を収益源として想定している。

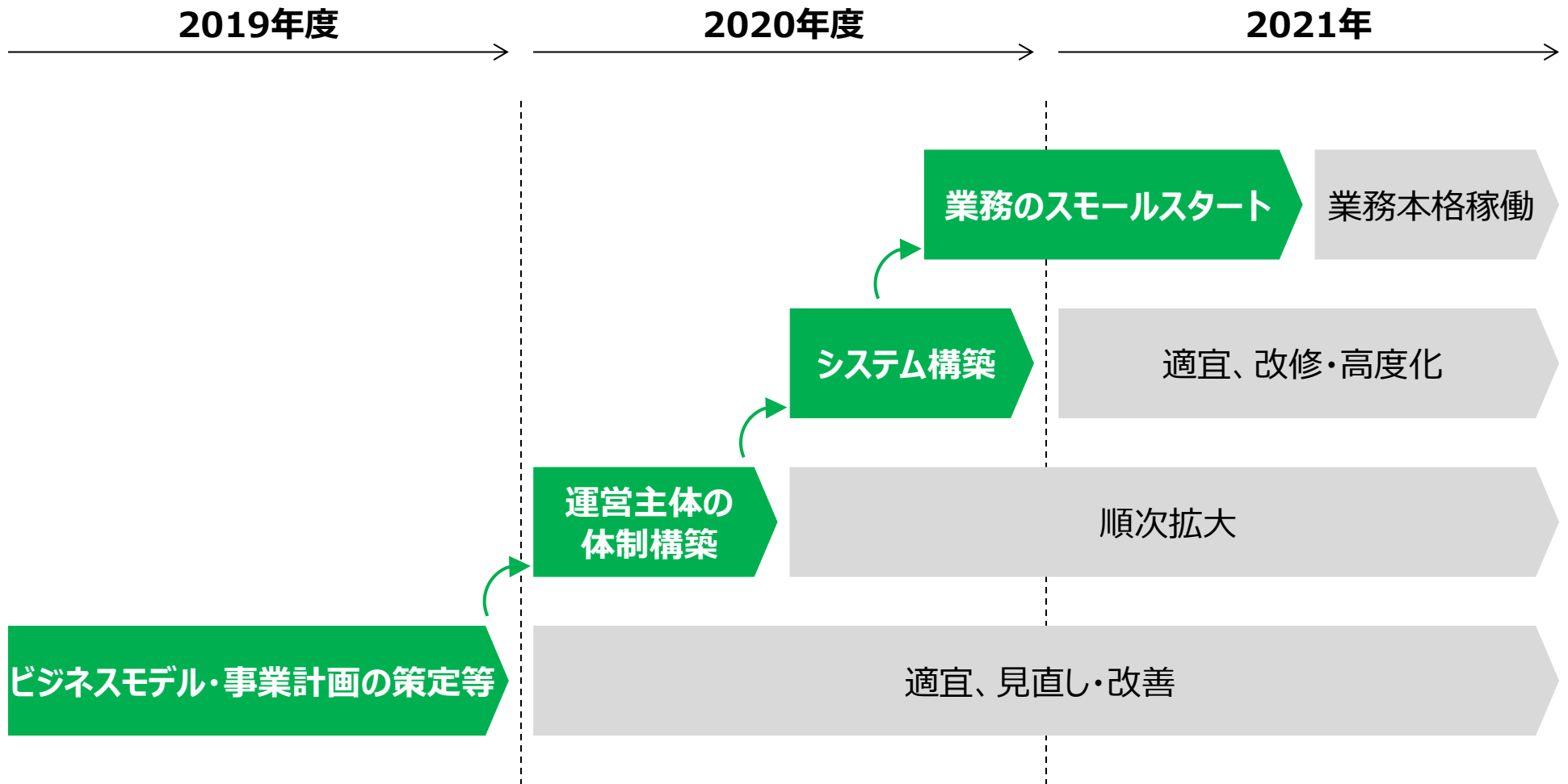


※個人情報については、個人情報保護法の改正等に関する議論の動向を踏まえつつ、匿名化など所要の措置を講じた上で取り扱う仕組みを検討する

議事2 官民連携データプラットフォームについて

官民連携データプラットフォームの稼働に向けたマイルストーン（案）

本年度中の検討結果を踏まえて、2020年度には運営主体の体制構築、システム構築を完了し、業務のスタートまで実現することを目指す。



議事2 官民連携データプラットフォームについて

「チャレンジウィーク」 オフピーク通勤の状況（新宿駅西口通行者サンプル調査）

GPSデータを用いることで、施策効果の分析などを効率的に実施可能。

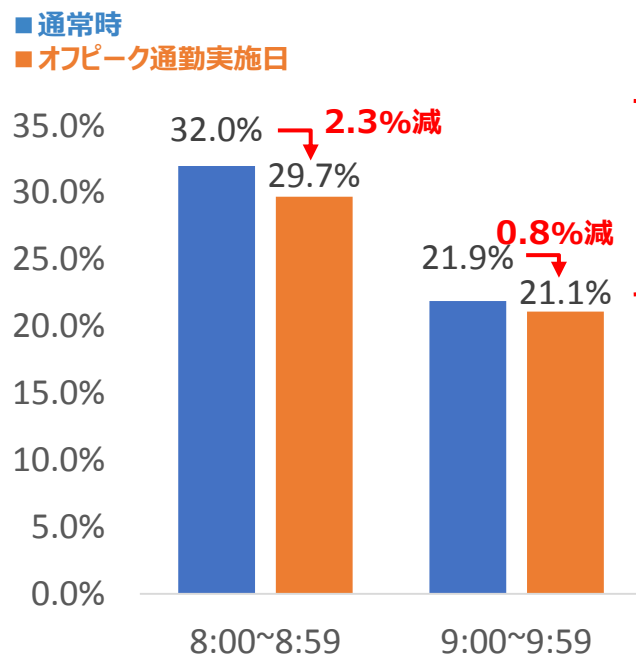
従来の調査手法のイメージ



調査に時間的コスト・
人員コストを要す

GPSデータを活用した調査例

通勤ラッシュ時の交通量の構成比※比較



オフピーク通勤実施により
計約3%減少

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



※構成比は、6:00-11:59の交通量の全体を100%とした場合の当該時間帯の交通量の割合

※新宿駅西口から都庁舎方面（右下図の2箇所）に移動した軌跡のある方約4,000サンプルを対象

出典：株式会社プログウォッチャーがスマートフォンから取得した位置情報で集計

GPSなどを用いて
リアルタイムなデータを効率的に収集・分析可能

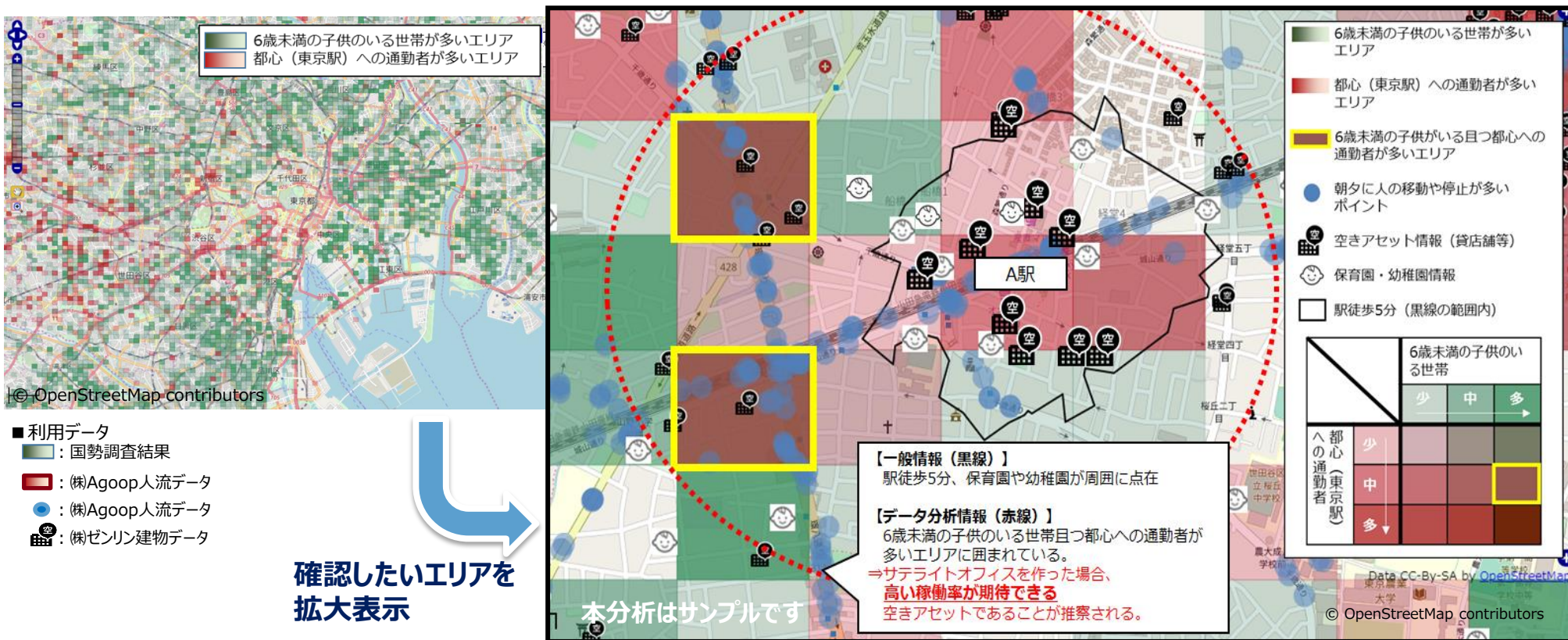
議事2 官民連携データプラットフォームについて

分析モデル例 Customer-Journey (稼ぐ力・子育て支援)

複数データの掛け合わせによる空きアセット活用モデル検証

国勢調査結果と人流データから、子育て世帯が多いエリア(緑色)、都心通勤者が多いエリア(赤色)を可視化。空きアセット情報と掛け合わせ、サテライトオフィス等の出店計画に資する分析が可能に。

一般的に需要が見込みやすいA駅周辺のみならず、緑と赤が重なるエリア(黄枠)も有望と判明。



議事2 官民連携データプラットフォームについて

分析モデル例 Connecting Business (稼ぐ力をさらに繋げる)

スタートアップ企業の活動傾向・特徴をデータから可視化

●テーマにおける課題

誰が？

- ベンチャーキャピタル(VC) ※1
- コーポレートベンチャーキャピタル(CVC) ※2
- スタートアップと協業したい企業(大企業・中小企業)

何に困っている？

- どのスタートアップが良いのか、大量に存在するスタートアップの調査および候補選定に時間がかかる
- スタートアップの評価選定は属人的なスキルに依存するが人手不足

※1 主に未上場の新興企業に資本を供給することを主たる業務とする組織

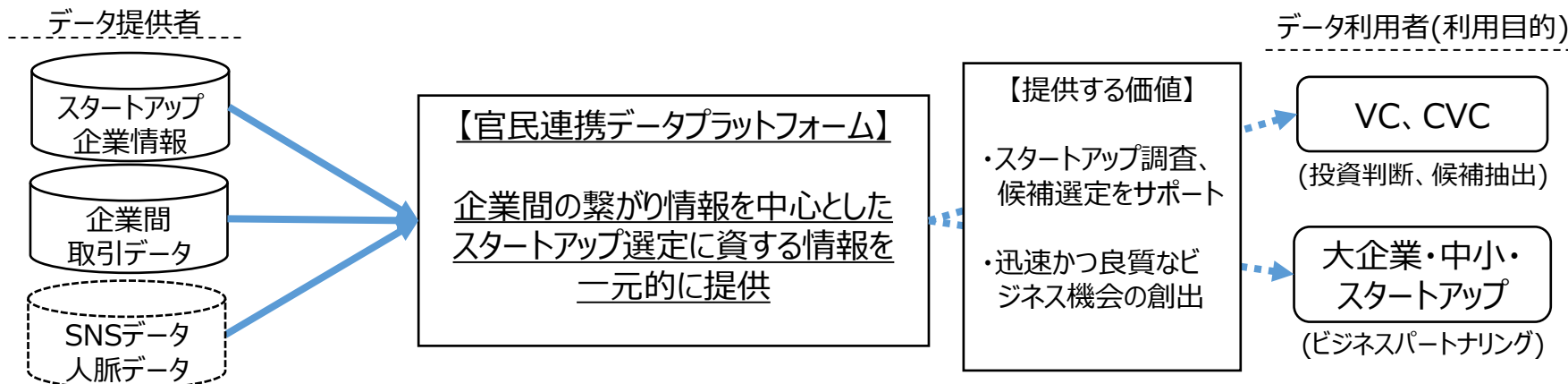
※2 事業会社が自己資金でファンドを組成し、主に未上場の新興企業に資本の供給や支援を行う組織

●仮説

スタートアップ企業に関連する情報を一元的に提供することで以下のビジネス価値が生まれるのではないかと

- ▶ 人手不足に悩むスタートアップ界隈のプレーヤの調査、候補選定をサポート
- ▶ 適切な情報提供により、迅速、かつ、良質なビジネス機会の創出

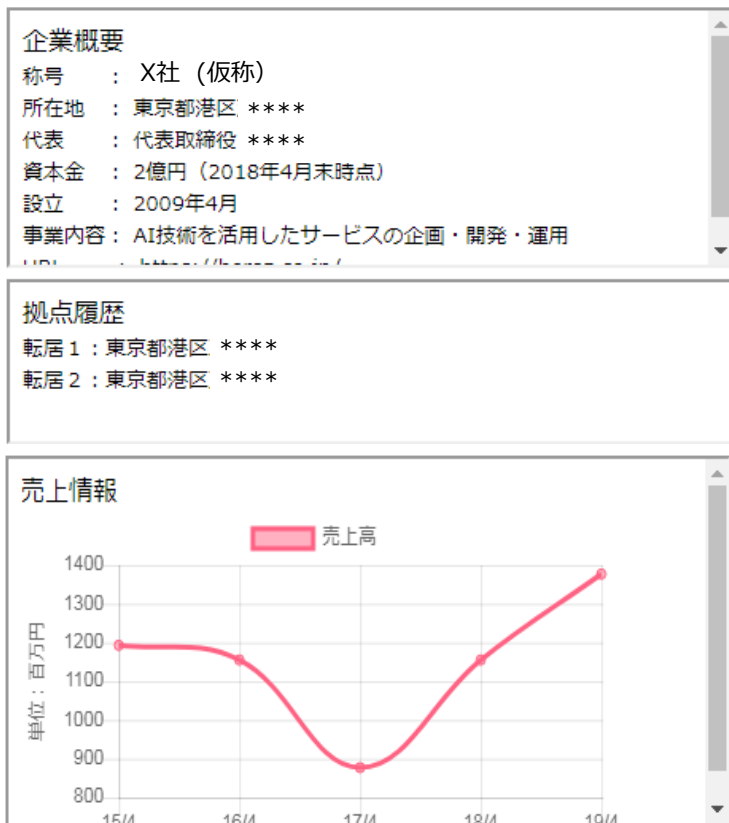
●全体イメージ



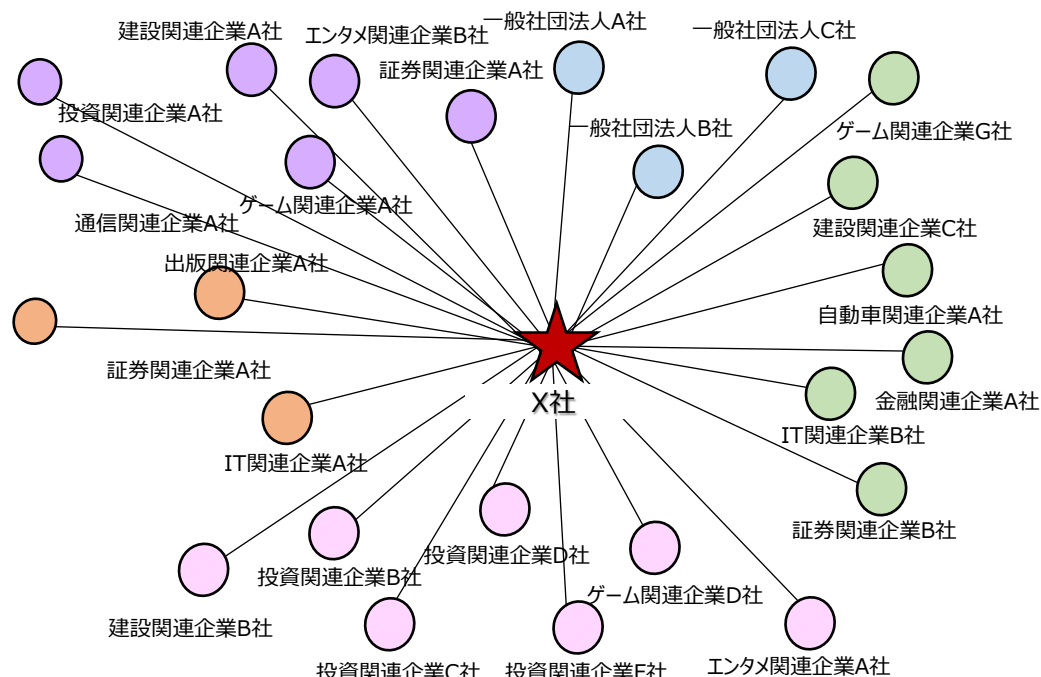
議事2 官民連携データプラットフォームについて

分析モデル例 Connecting Business (稼ぐ力をさらに繋げる)

関係企業間のネットワークを含む、スタートアップ企業情報を一元的に表示



AIスタートアップ企業情報の可視化サンプル



【関係企業マップ凡例】

● 株主/ ● 業務提携/ ● 資本提携/ ● 取引先/ ● 所属団体

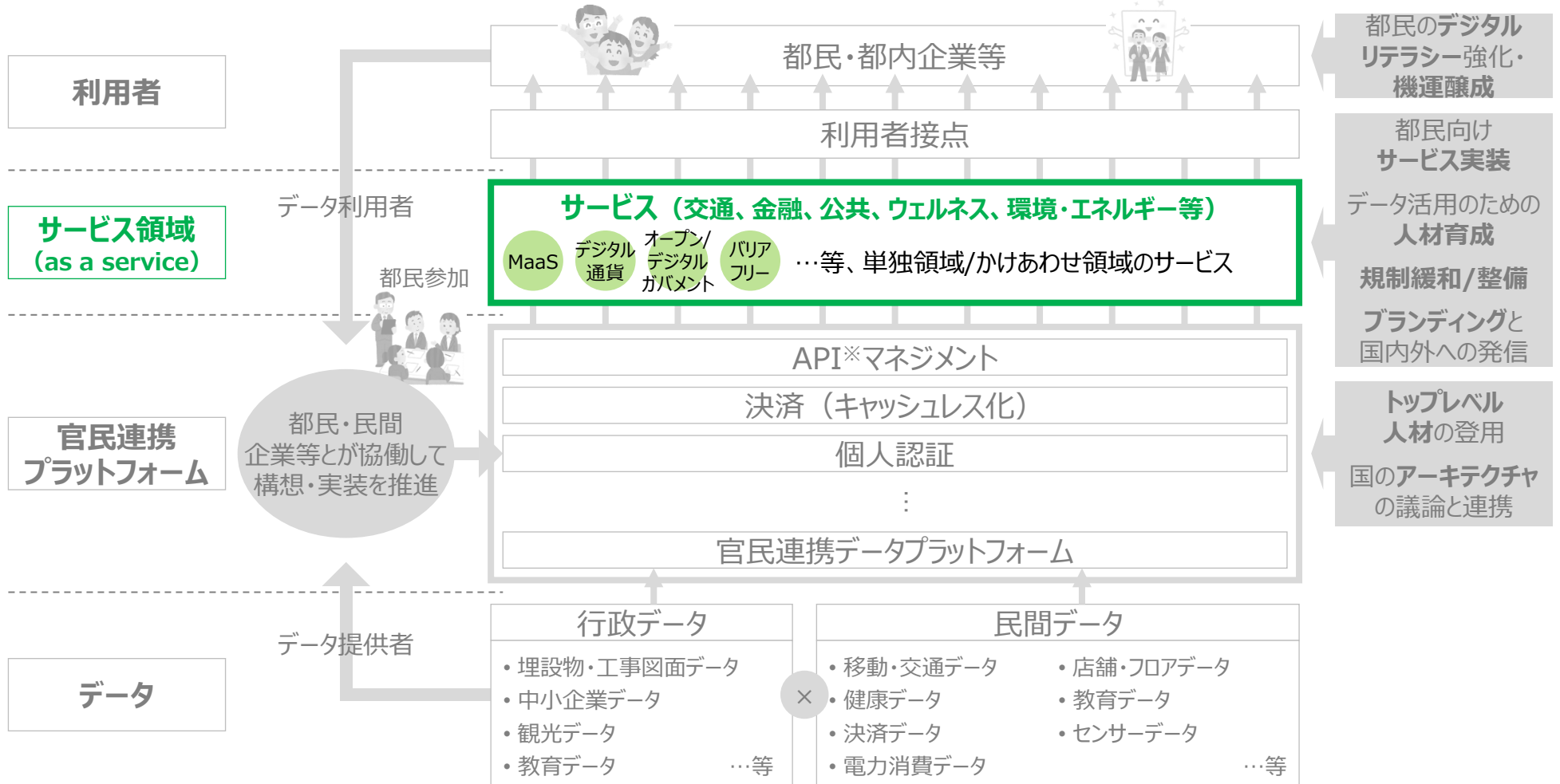
※掲載情報は 企業HP、プレスリリース等の公開データより抽出

● 考察

- ✓ 中小企業やスタートアップ企業に関する限られた情報を組み合わせ、企業間のネットワークを可視化することで、企業活動の傾向や特徴などが把握しやすくなる。
- ✓ 中小企業・スタートアップ企業に関し、企業間取引データ等、より多くの情報を入手出来れば、様々な角度で企業活動の傾向や特徴が把握しやすくなり、データ活用による新たなビジネス機会の創出が期待される。

議事3 サービス領域について

官民連携データプラットフォーム構築に先立ち、先行的なサービス領域の検討を推進。



議事3 サービス領域について

先行着手する領域とタイムライン（案）

MaaS、デジタル通貨に加えて、オープン/デジタルガバメント、バリアフリー、ウェルネス、環境・エネルギー等の各分野についても、取組に順次着手する。

凡例)
■ : 予算措置済み・実施予定
■ : 要求候補

領域	サービス (短期/東京都主導)	都による取組概要	普及に向けた想定タイムライン※		
			2019年度	2020年度	2021年度～
交通	MaaS	✓ 国と連携し、公共性、広域性、事業性を兼ね備えた「東京版MaaS」の実証実験を実施	実証 (公募に向け準備)		
金融	デジタル通貨	✓ 東京発デジタル通貨のモデル事業を実施し、効果を検証	実証 (公募中)		
公共	オープン/デジタルガバメント	✓ 地域別・世代別等あらゆるセグメントの都民の発信データを収集・分析し、「都民の声なき声」を都の計画や予算へ反映		実証	
バリアフリー	-	✓ バリアフリー客室を含むホテルの客室等の情報を整備した上で、情報発信を行う		調査・オープンデータ化	
ウェルネス	-	✓ バイタルデータ等を活用してサービス開発等を促進 ✓ 認知症ケアにかかるデータの活用		実証	検討中
環境・エネルギー	-	✓ 電力利用データ等を活用した新ビジネスの創出に向け、プラットフォームの構築等を支援		実証	
教育	-	✓ 各教育機関のデータを分析可能なデータとして、オープン化を推進		実証	

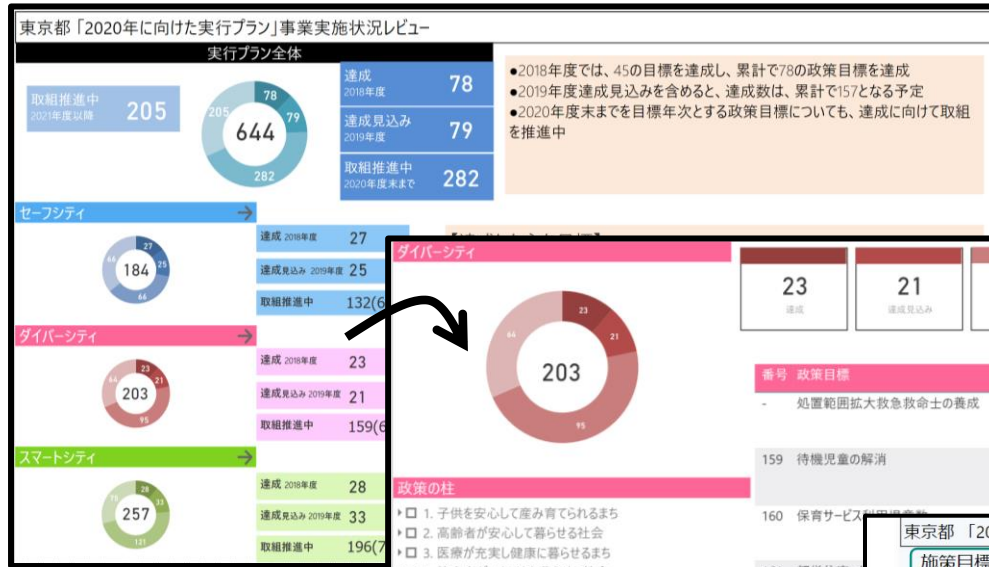
議事3 サービス領域について

オープンガバメントの新たな取組紹介

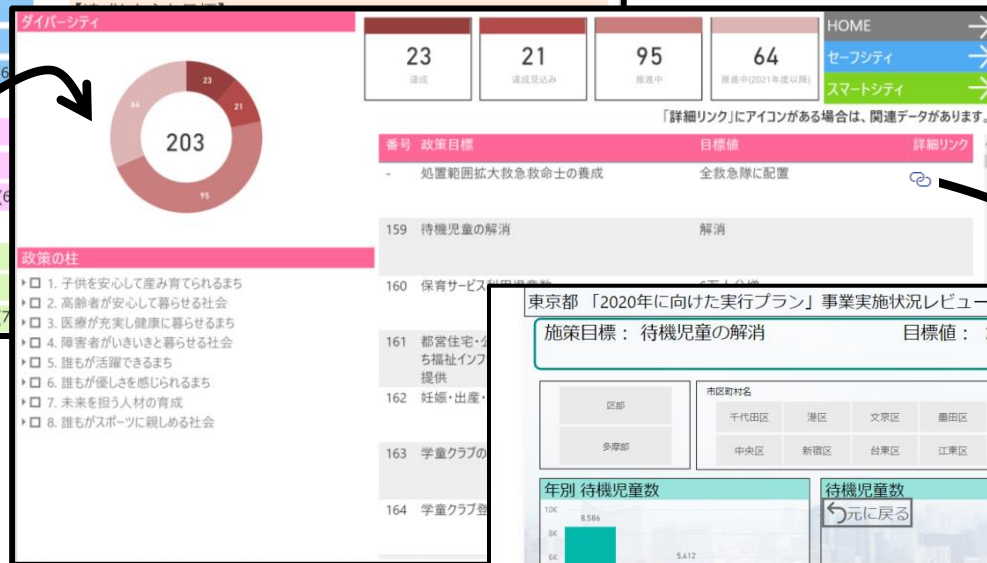
「2020年に向けた実行プラン」事業実施状況レビュー結果（ダッシュボード版）の試行

(画面イメージ)

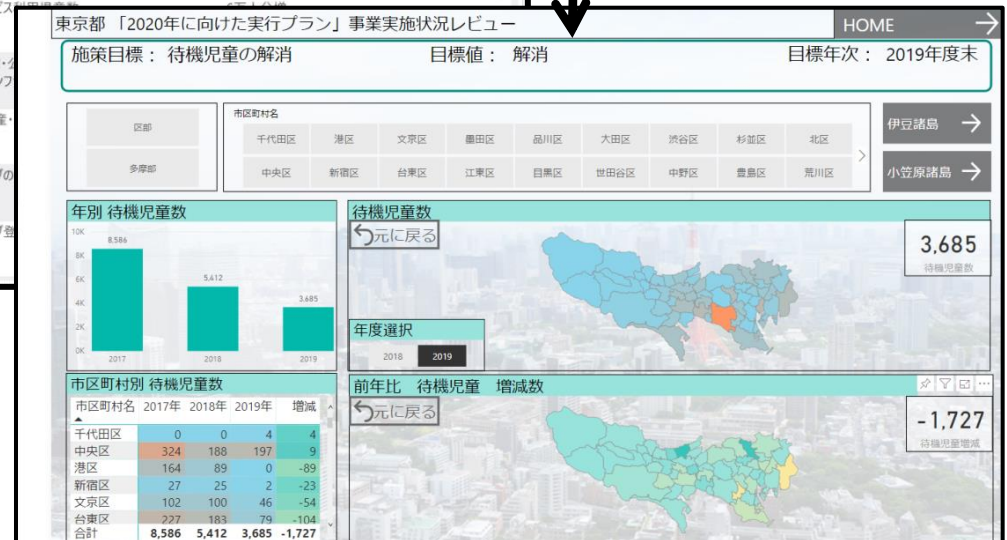
トップ画面



ダイバーシティの画面



事業の詳細画面



議事3 サービス領域について

ホテルの客室等のオープンデータ化を通じたデバイドの解消

目指すべき将来の姿

- 都ではこれまでも建築物バリアフリー条例の改正、バリアフリー化支援の拡充、情報発信の充実といった取組みを推進。今後、宿泊施設におけるバリアフリー環境の整備が期待される。
- 子供連れや外国人、高齢者、障害者等の多様なニーズに応え、あらゆる人が快適に宿泊できる施設を選択できるために、**よりきめ細かな情報発信が必要**。
- そこで、ホテルの客室や「だれでもトイレ」等の**情報をオープンデータ化**することで、誰もが東京で活動しやすい環境づくりのトレンドを東京都版SIB（成果連動型で社会的課題を解決する手法）により創出。
- 東京2020のレガシーとして「**デバイドの解消**」を実現（将来的には官民連携データプラットフォームと連携）。
- 利用者の**利便性向上とともに**、当該情報を活用して新たなアプリ開発やサービス等を行う**イノベーションの創出**を期待。

オープンデータ化の対象（案）

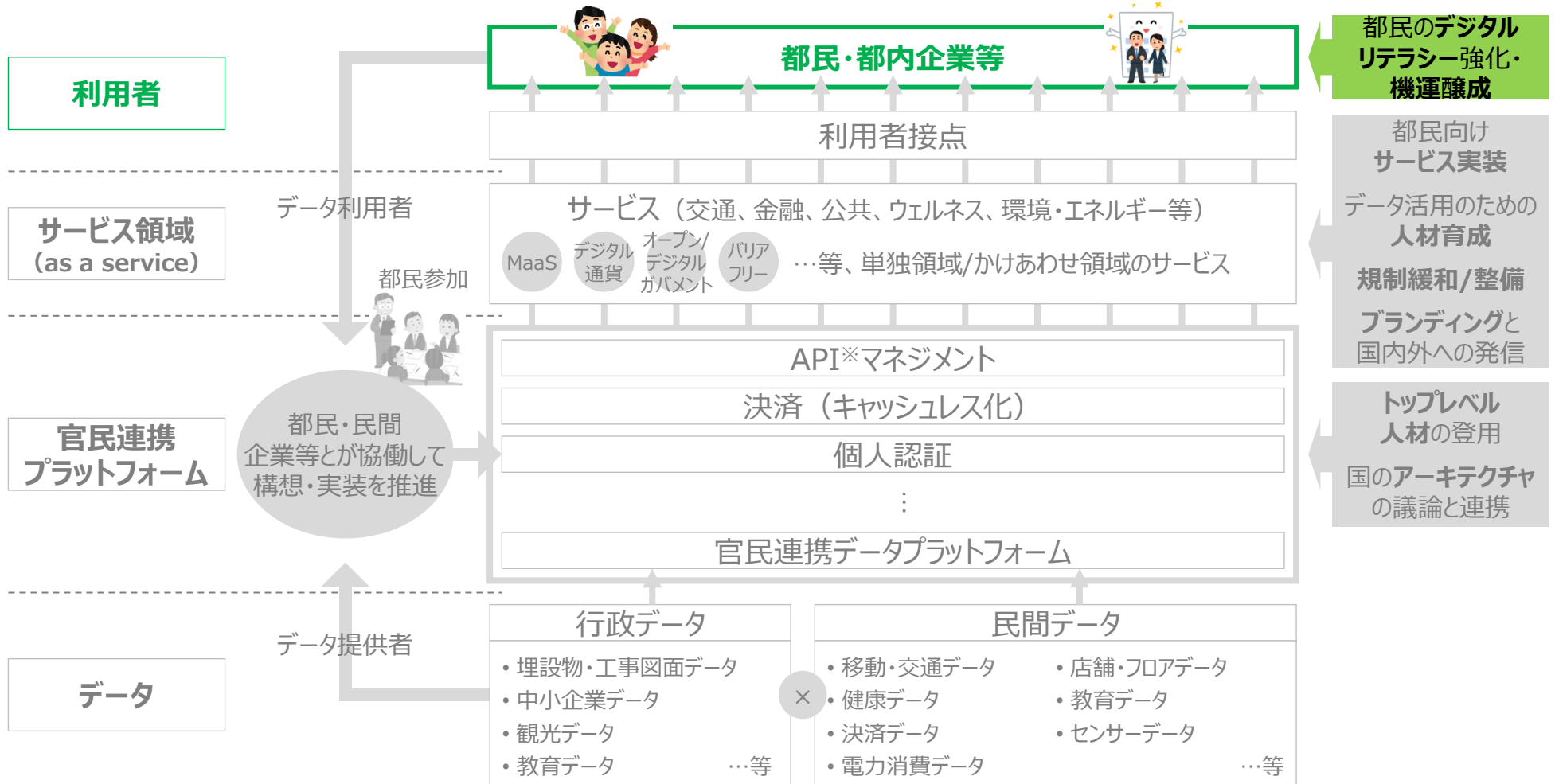
- 都内ホテルのバリアフリー客室を含む客室等の情報
客室・浴室等の出入口幅、客室内の段差の有無・高さ、貸出備品の有無・種類 等
- 都内民間施設の「だれでもトイレ」や「スロープ」、「屋内点字ブロック」等の情報

今年度のスケジュール

- 実施方法について関係団体との協定（成果連動型）による実施を検討中。秋頃より、データ収集を開始し、順次オープンデータ化の予定。

議事4 アイディアコンテストについて

議事2においてご意見頂いた東京都が主導するサービスに加えて、都民のニーズや民間の活力によりサービス実装促進を図っていく。こうした取り組みへの仕掛けを検討したい。



議事 4 アイディアコンテストについて

本年度におけるアイディアコンテストの開催（案）

まずは本年度、都民、都内企業等を対象として、アイディアコンテストを開催する。

実施目的

- ✓ 東京都におけるSociety5.0社会実装に向けて、
 - データ利活用に対する都民の疑問点・懸念点の払拭、データ利活用への機運を醸成
 - 都民、都内に勤務または通学する個人、都内に事業所を有する法人(企業、大学・研究機関、自治体、その他の法人)から広くオープンにデータ利活用の具体的なアイディア・アプリを収集

実施概要

- ✓ 都がデータ利活用の課題テーマを設定（①外国人、②障害者、③高齢者の利便性の向上等）
- ✓ アイディアの部、アプリの部の2部門について募集
 - アイディアの部は、東京都が事前に設定した課題テーマに沿って、老若男女を問わず幅広い都民から「こんなのあったらいいな」というアイディアを募る
 - アプリの部は、東京都が事前に設定した課題テーマに沿って、都内に事業所を有する法人や起業家から、行政データ・民間データ等を活用したアプリを募集する
- ✓ 審査委員会による最終審査により、課題テーマへの適合性やデータ利活用意義の発信に優れたアイディアを部門ごとに1～2案程度選定し、令和2年1月頃にシンポジウムと同時に開催する表彰式の中で表彰を行う

実施スケジュール



議事 4 アイディアコンテストについて

アイディアコンテストにおける募集の対象

コンテストは、大義である「ダイバーシティの実現」を目指し、外国人、障害者、高齢者のそれぞれにとっての利便性向上をテーマとし、アイディア部門、アプリ部門の2部門で構成。

	課題テーマ案① 外国人の生活を もっと快適に	課題テーマ案② 障害者が もっと活躍できるように	課題テーマ案③ 高齢者が不安なく 生活できるように
アイディア部門	<ul style="list-style-type: none">● 都内に居住する/都内を訪れた外国人の東京での滞在期間、その前後に抱える不安・悩みを解消し、その経験をより楽しく、より快適にするアイディア・アプリ	<ul style="list-style-type: none">● 障害のある都内の方々が日々の生活や勤務・学業等への従事にあたり抱える課題を解消し、より活躍できるようにするためのアイディア・アプリ	<ul style="list-style-type: none">● 都内の高齢者が生活において抱える課題、悩みを解消し、不安なく暮らすためのアイディア・アプリ
アプリ部門	<ul style="list-style-type: none">✓ 都内に事業所を有する法人や起業家等から、官民データを活用したアプリを募集する✓ コンテスト開催段階で既に提供済、もしくは提供が決定されているアプリを募集対象とする。		

事務連絡 スケジュール

